

九州農業成長産業化連携協議会  
平成30年度総会 議案書

平成30年7月13日

# 報告事項 平成 29 年度事業報告

## 1 管理運営事業

### (1) 九州農業成長産業化連携協議会役員会・通常総会

- ・日時：平成 29 年 6 月 8 日（木）
- ・場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前（福岡市）
- ・概要：平成 28 年度事業報告、平成 29 年度事業計画、役員選任等。

### (2) 企画運営委員会

#### ア 第 12 回企画運営委員会

- ・日時：平成 29 年 10 月 26 日（木）
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・概要：平成 29 年度事業の進捗状況報告、今後の企画運営方針検討等。

#### イ 第 13 回企画運営委員会

- ・日時：平成 30 年 5 月 15 日（火）
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・概要：平成 29 年度事業の進捗状況報告、平成 30 年度の企画運営方針検討等。

### (3) 共同事務局会議

- ・日時：原則毎月開催。
- ・場所：各構成機関会議室。
- ・概要：事業の進捗状況の確認、関係機関の連携方策等についての検討等。  
（（構成機関）（一社）九州経済連合会・（一財）九州地域産業活性化センター、九州農政局・九州経済産業局）

## 2 経営連携促進事業

### <会員間の連携による課題解決>

#### (1) 連携提案実現に向けた支援

##### ① 加入者状況（平成 29 年度末現在）

- ・771 団体、企業、個人（平成 28 年度末会員数 704）

##### ② 会員間の連携促進に向けた取組み

#### ア 連携提案書を活用した会員間のマッチング促進

- ・「連携提案書」を活用して会員からの連携提案を募り、既存会員に対して協議会クラウドによる周知を実施。提案者との連携希望については、「関心会員の登録」により随時募集。
- ・平成 30 年 3 月、九州農政局 HP に「連携提案書」等の様式と協議会クラウドの URL を掲載し、利便性の向上と提案し易い仕組みに改善。

#### イ 商談会カレンダーの発行

- ・会員間の連携実現に向け毎月メールで発行。

##### ③ 交流会等の企画・参画

- 「第 6 回九州食の展示商談会 2017 in くまもと」

(主催：九州食の商談会実行委員会)

- ・目的：参加者に対する個別相談、会員の商品 PR。
- ・日時：平成 29 年 11 月 8 日（水）～9 日（木）10:00～17:00（最終日 16:00）
- ・場所：グランメッセ熊本（熊本県益城郡益城町）
- ・概要：出展者 228 者、2 日間の来場者 26 千人、商談数 674 件、成約（見込み含む）7 千万円。事務局から相談員を派遣、協議会チラシ及び会員の商品パンフレットを配布し PR。

## (2) 九州農業連携塾

- ・目的：会員相互の定期的な交流、流通部会との連携及び協議会外部との交流促進等。

### ① 第 1 回

- ・日時：平成 29 年 7 月 6 日（木）10:00～12:00
- ・場所：福岡第一合同庁舎 本館 1 階 九経交流プラザ（福岡市）
- ・概要：農業をテーマに、産業や業種の垣根を越えた交流の場として年 2 回程度開催。参加者による事業紹介や連携提案等のプレゼンテーションと交流会等を通じて、参加者間の連携促進、農業の活性化、農商工連携・6 次産業化による農業の成長産業化・地域経済活性化につなげることを目指している。23 回目となった今回は「農業の生産性向上と海外展開」を主なテーマとして開催。（参加者 42 名）

### ② 第 2 回

- ・日時：平成 30 年 3 月 20 日（火）10:00～12:00
- ・場所：うきは市民ホール（かわせみホール）（福岡県うきは市）
- ・概要：24 回目となった今回は「農業の生産性向上や販路拡大」を主なテーマとして開催。（参加者 46 名）

## (3) 農商工連携促進事業

- ・目的：農林漁業者と中小商工業者が、通常のビジネスの枠を超えて協力し、お互いの経営の強みを持ち寄って、売れる商品・サービスの開発・生産等を行うことで、両者の売上げや利益の増加を目指そうとする取り組み。
- ・「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律」に基づく認定（九州経済産業局長認定）
- ・ふるさと名物応援事業補助金（農商工等連携事業）の執行  
【29 年度実績】 交付決定件数 8 件 [全国 51 件]

## <生産性の向上>

### ○「農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座 2017」

- ・目的：農業法人、農業者（後継者、新規就農者を含む）及び農業参入を検討中の企業等を対象に、収益確保の仕組みやマーケットインによる商品提供、6 次産業化・IT 活用による生産性向上等の先進事例の紹介。物流と商流の仕組みを学ぶための流通小売現場視察、講師の先生方を囲んだ“異業種交流”を主な内容とした講座を開催し、農業の持続的な発展のために次世代農業の担い手確保や企業の新規参入促進、経営感覚をもった

農業経営者の育成を図る。

- ① 第1回（参加者 53 名）
  - ・日時：平成 29 年 9 月 6 日（水）15：00～17：50
  - ・場所：久留米ビジネスプラザ（久留米市）
  - ・概要：「収益確保のために出口を意識した取組の紹介」を主なテーマとして、先進的な取組を行っている農業経営者や流通関係者に取組内容を紹介いただくとともに、参加者間の交流を図ることを主な目的として開催。
- ② 第2回（参加者 29 名）
  - ・日時：平成 29 年 11 月 9 日（木）14：00～16：50
  - ・場所：グランメッセ熊本（熊本県益城郡益城町）
  - ・概要：第1回に引き続き「収益確保のために出口を意識した取組の紹介」を主なテーマとして、11月8日から9日にかけて同会場で開催される「九州食の展示商談会 2017 in くまもと」の同時開催事業として開催。
- ③ 第3回（参加者 33 名）
  - ・日時：平成 30 年 1 月 31 日（水）15：00～17：50
  - ・場所：久留米ビジネスプラザ（久留米市）
  - ・概要：過去の参加者アンケート結果から要望が多かった「農業人材育成」をテーマに、先進的な取組を行っている宮崎県の新福青果と熊本県のウシジマ青果を講師として招いて開催。
- ④ 第4回（流通現場視察）（参加者 21 名）
  - ・日時：平成 30 年 3 月 23 日（金）12：00～18：10
  - ・視察先：イオン筑紫野店、イオン鳥栖物流センター（イオン九州 XD）
  - ・概要：物流と商流の仕組みを学ぶことを目的に、流通小売現場の視察を実施。

## <付加価値の向上>

### （1）課題解決型セミナー

- ・目的：生産者や法人の所得向上につながる農・食の高付加価値化、輸出等の拡大等

#### 「6次産業化・農商工連携・地域資源活用フォーラム

##### ～新事業の創出と地域活性に向けて～

（「第6回九州食の展示商談会 2017 in くまもと」同時開催事業）

- ・目的：6次産業化や農商工連携、地域資源活用の取組は、農山漁村において新たな所得や雇用を創出し、地域の活性化に繋がる重要な取組であり、これらの取組のさらなる推進を図ることを目的として開催。（参加者 127 名）
- ・日時：平成 29 年 11 月 8 日（水）13：00～16：30
- ・場所：グランメッセ熊本（熊本県益城郡益城町）
- ・主催：九州農政局、九州経済産業局（後援：九州農業成長産業化連携協議会）
- ・共催：株式会社ジェイアール東日本企画

### （2）6次産業化促進事業

- ・目的：農山漁村の所得や雇用の増大を図るために農林水産物等の地域資源を活用した6次産業化の推進。

① 「全国キャラバン食の発掘商談会 in 福岡」(主催：株式会社 JTB 西日本)

- ・目的：参加者に対する個別相談、会員の商品、連携協議会 PR。
- ・日時：平成 29 年 10 月 19 日(木) 8:30~17:10
- ・場所：ホテルニューオータニ博多(福岡市)
- ・概要：事務局から相談員を派遣、会員の商品パンフレット、連携協議会のチラシを配布し PR。(出展者：33 社、バイヤー 20 社、商談数 218)

② 「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」(六次産業化・地産地消法)に基づく事業計画の認定

【平成 29 年度実績】認定数 25 件

## <流通・販路の拡大>

### (1) 国内市場における流通・販路の拡大

- ・九州全域における 6 次産業化・農商工連携促進のための販路拡大等を目的とした広域ビジネスマッチング交流会(個別商談会)を開催。

### ○広域ビジネスマッチング交流会(「6 次産業化・農商工連携ビジネスマッチング交流会」)

#### 【開催概要】

- ・開催形態：「第 6 回九州食の展示商談会 in くまもと」実行委員会と共催の上、同時開催。
- ・セラー募集説明会：  
開催日 平成 29 年 7 月 31 日(月)  
熊本市(九州食の展示商談会実行委員会)開催の出展者説明会において「6 次産業化・農商工連携ビジネスマッチング交流会」へのセラー募集説明
- ・開催日時：平成 29 年 11 月 8 日(水)、9 日(木) 10 時~17 時(最終日は 16 時)
- ・場所：グランメッセ熊本(熊本県上益城郡益城町)
- ・参加者数：セラー：43 社、バイヤー：百貨店、量販店等 8 社(9 組)
- ・商談数：202 品
- ・成約等：成約及び成約見込み 19 品(9.4%)、継続 106 品

### (2) 海外市場に向けた輸出の拡大

- ・目的：九州一体となった農水産物・食品の輸出促進を輸出部会で検討し実施。

#### ① 海外からのバイヤー招聘による輸出商談会の開催(国内輸出商談会)

- ・7 月 25 日：五大陸バイヤー招聘輸出商談会(宮崎市内、JETRO 宮崎共催)
- ・7 月 28 日：五大陸バイヤー招聘輸出商談会(鹿児島市内、JETRO 鹿児島共催)  
「うんまか鹿児島食品展示商談会」(鹿児島県、他主催)会場にて開催
- ・11 月 30 日：「8 か国バイヤー食品輸出商談会 in 熊本」(熊本市内、JETRO 熊本共催)(詳細は、輸出部会の項を参照)

#### ② 輸出拡大に関する各種セミナー開催

- ・ 6月12日：食品輸出セミナー「英、仏、独の日本食品市場」（JETRO 福岡共催）
- ・ 8月30日：「農林水産物・食品輸出マーケティング基礎講座」（マーケティング・スクール in 福岡）（JETRO 福岡共催）
- ・ 11月16日：食品輸出セミナー「LA、NYの日本食品市場」（JETRO 福岡共催）  
（詳細は、輸出部会の項を参照）

### 3 人材育成・広報・調査事業

#### (1) 経営人材育成事業

##### ア 農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座2017

- ・ 年4回開催。（詳細は前掲のとおり、P2～3参照）

##### イ 農業のビジネス化推進研修

- ・ 目的：農業経営者に、ビジネスとして成功するための農業経営について、企業経営の手法を取り入れた考え方を事例研究等を通して学んでもらうことを目的に開催。（受講者：16名、聴講生：8名）
- ・ 主催：中小企業大学校人吉校
- ・ 後援：九州農業成長産業化連携協議会（九州経済産業局）
- ・ 日時：平成30年2月1日（木）～2日（金）
- ・ 場所：中小企業大学校人吉校（熊本県人吉市）

#### (2) 高度経営人材事業

##### ○九州・ベトナム農業ビジネスミッション 2017

- ・ 目的：人材不足に悩む農業経営者の外国人人材確保を後押しするため、海外での現地法人設立を促進すること、及び最先端の農業関連機器を日本の栽培方法と共にベトナムの農家に売り込むことを主な目的として開催。
- ・ 主催：九州農業成長産業化連携協議会（九州経済産業局）
- ・ 共催：JICA九州
- ・ 日程：平成29年12月10日（日）～16日（土）
- ・ 訪問先：ベトナム社会主義共和国（ホーチミン市、ダラット市（ラムドン省）、ヴィン市（ゲアン省））
- ・ 規模：農業経営者・農業関連企業6社

#### (3) 情報提供・発信事業

##### ① 関連施策説明会

- ・ セミナー・現地視察、部会開催案内等を継続して迅速に発信。
- ・ 農林水産省・経済産業省の農業関連分野での支援施策、予算について情報提供。

##### ② 九州農業成長産業化連携協議会の認知度向上・会員数拡大

- ・ セミナー、展示商談会等での紹介、入会チラシの配布、勧誘。
- ・ 平成30年3月末現在 会員数771（昨年度末から67会員増加）

### 4 部会の取組

#### (1) 輸出部会

- ・目的：九州地域の農業団体・農業法人、漁協等の生産者、自治体と経済界等が一体となった農林水産物・食品の輸出拡大。

### ① 第19回輸出部会（平成29年度第1回）

- ・日時：平成29年5月31日（水）13:30～15:00
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・出席者数：37名
- ・概要：ア 国内輸出商談会の企画説明と検討。  
イ 農林水産物・食品の輸出実績の把握方法について（意見交換）。  
ウ 九州農政局、九州経済産業局関連の国の輸出拡大施策の説明。

### ② 第20回輸出部会（平成29年度第2回）

- ・日時：平成29年11月7日（火）13:30～15:30
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・出席者数：36名
- ・概要：ア 上期活動報告  
i 宮崎・鹿児島 国内輸出商談会  
ii 食品輸出セミナー  
iii 農林水産物・食品輸出マーケティング基礎講座  
イ 下期活動計画  
ウ その他  
i 企画運営委員会 報告  
ii 九州農政局、九州経済産業局の「国の輸出拡大施策」説明。  
iii 「九州管内税関ベース輸出実績（統計）」について。

### ③ 第21回輸出部会（平成29年度第3回）

- ・日時：平成30年2月14日（火）13:30～15:30
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・出席者数：27名
- ・概要：ア 平成29年度活動実績報告。  
イ 平成30年度活動計画説明。  
i 平成29年度主要行事関係実施報告。  
ii 九州における農林水産物・食品関連品の輸出実績について。  
ウ その他  
i WeChat を活用した中国市場開拓について。  
ii 「九州食品輸出商談会 in くまもと」開催報告（熊本市）。  
iii 九州経済産業局、九州農政局より平成30年度の輸出関連施策等の説明。

### ④ 海外からのバイヤー招聘による商談会 開催（販路拡大）

#### ア「五大陸バイヤー招聘輸出商談会」開催

（ア）宮崎開催分（主催：JETRO 宮崎、共催：九州農業成長産業化連携協議会）

- ・日時：平成29年7月25日（火）10：00～17：30
- ・場所：シーガイア シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート（宮崎市）
- ・概要：バイヤー5か国6名（米国、英国、中国、伯、豪州）  
セラール26社（予約商談会）
- ・結果：商談数 38件、成約見込み件数 25件。

**(イ) 鹿児島開催分**（主催：JETRO 鹿児島、共催：九州農業成長産業化連携協議会）

※「うんまか鹿児島食品展示商談会2017」（主催：鹿児島県を中心とする実行委員会、協力：JETRO 鹿児島）会場にて同時開催。

- ・日時：平成29年7月28日（金）10：00～17：30
- ・場所：城山観光ホテル エメラルドホール（鹿児島市）
- ・概要：バイヤー5か国、6名（米国、英国、中国、伯、豪州）  
セラール24社（予約商談会）
- ・結果：商談数 30件、成約見込み件数 6件。

**(ウ) 「8か国バイヤー招聘輸出商談会」開催**

（主催：JETRO 熊本、共催：九州農業成長産業化連携協議会）

- ・日時：平成29年11月30日（木）10：00～17：00
- ・場所：ホテルメルパルク熊本 有明の間（熊本市）
- ・概要：バイヤー：8か国、9名（米国、仏、蘭、韓、泰、インドネシア、豪州、ニュージーランド）、セラール34社（予約商談会）
- ・結果：商談数 64件、成約見込み件数 43件。

**⑤ 輸出拡大に関する各種セミナー開催**

**(ア) 食品輸出セミナー「英国、仏、独の日本食市場」開催**

（主催：JETRO 福岡、共催：九州農業成長産業化連携協議会）

- ・日時：平成29年6月12日（月）13：00～17：00
- ・場所：TKP ガーデンシティ天神（福岡市）
- ・概要：ア EU全体及び英国、仏、独の個別の状況について説明。  
イ 予約制により個別相談会を実施（5社9件）。  
ウ 総合役立ち度（役に立った、まあ役に立った） 97.7%  
（受講者アンケートより）（受講者61名）

**⑥ 「農林水産物・食品輸出マーケティング基礎講座（マーケティング・スクール）in 福岡」開催**

（主催：JETRO 福岡、共催：九州農業成長産業化連携協議会）

- ・日時：平成29年8月30日（水）9：00～17：30
- ・場所：リファレンス駅東ビル（福岡市）
- ・概要：ア 実習を取り入れたスクール形式のセミナー。  
イ 輸出取組企業事例紹介 株式会社種商 諸富 和馬 社長  
ウ 総合役立ち度（役に立った、まあ役に立った） 100.0%  
（受講者アンケートより）（受講者35名）

## ⑦ 食品輸出セミナー「LA、NYの日本食市場」開催

(主催：JETRO 福岡、共催：九州農業成長産業化連携協議会)

- ・日時：平成 29 年 11 月 16 日 (木) 9 : 00 ~ 16 : 40
- ・場所：TKP ガーデンシティ天神 (福岡市)
- ・概要：ア LA、NY の状況について説明。  
イ 予約制により個別相談会を実施 (5 社 6 件)。  
ウ 総合役立ち度 (役に立った、まあ役に立った) 100.0 %  
(受講者アンケートより) (受講者 40 名)

## (2) 外食部会

- ・目的：生産者と外食事業者とのビジネスマッチング等を推進することにより、新たなビジネスモデルやプロジェクトを推進し、農業生産者の販路拡大、所得の向上を図る。

### ① 第 7 回外食部会

- ・日時：平成 29 年 9 月 7 日 (木) 15 : 00 ~ 17 : 10 (九州農政局第 6 会議室)
- ・概要：ア 平成 28 年度の活動実績について。  
イ 平成 29 年度の活動方針について。  
i 会員等が主催する展示商談会等における会員の商品 PR。  
ii 外食事業者等と生産者の連携事例調査の実施。  
ウ ホンザキ南九(株)による「ジビエの販路拡大」についてプレゼン。

### ② 会員等が主催する展示商談会等における農林水産物・食品の情報発信

#### ア 展示商談会等での広報

- ・目的：連携協議会ブースにおける九州産品の PR、連携協議会への加入促進。
- ・概要：会員からの商品パンフレット及び協議会チラシ配布。

#### (ア) 「ぐるなび商品展示会 for 飲食店」(主催：株式会社ぐるなび)

- ・日程：第 24 回：平成 29 年 9 月 12 日 (火) 帝国ホテル大阪  
平成 29 年 9 月 28 日 (木) セルリアンタワー東急ホテル  
第 25 回：平成 30 年 1 月 31 日 (火) 帝国ホテル大阪  
平成 30 年 2 月 1 日 (水) セルリアンタワー東急ホテル
- ・概要：飲食店が集まる商品展示会。会員の商品パンフレットと協議会チラシを配布し、会員の販路拡大と協議会への加入を募り、生産者と飲食店の連携促進。

#### (イ) 「Food Style 2017 in Fukuoka」(主催：FOOD STYLE 事務局)

- ・日程：平成 29 年 11 月 7 日 (水) ~ 9 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00
- ・場所：マリンメッセ福岡 (福岡市)
- ・概要：九州最大級の小売、中食、外食業界の横断型の商談展示会。協議会チラシを配布し、協議会への加入を募り、生産者と外食事業者等との連携を促進。

#### イ 「地場産農産物生産者との懇談会」

(主催：公益財団法人 食品流通構造改善推進機構 農林水産省補助事業)

- ・目的：外食・中食等における国産食材活用促進。

- ・日時：平成30年1月17日（水）9：00～14：30
- ・場所：ほ場視察（(株)ゼロプラス：鹿児島県いちき串木野市）  
試食・懇談会（鹿児島市中央卸売市場 青果市場：鹿児島市）
- ・概要：業務用野菜のほ場見学、農産物の試食、外食・中食事業者と生産者の意見交換及び商談会。協議会のチラシを配布し、加入を募り、生産者と外食事業者等との連携を促進
- ・参加者：35名（市場関係者、卸売業者、小売業者、行政等）

#### ウ「加工・業務用国産野菜の利用拡大セミナー」（主催：九州農政局）

- ・目的：生産者と需要者の連携促進。
- ・日時：平成30年3月8日（木）13：00～17：00
- ・場所：熊本地方合同庁舎A棟1階共用会議室
- ・概要：加工・業務用国産野菜の産地と需要者の事例紹介を行い、生産者と需要者の連携を促進。
- ・参加者：95名（生産者、農業団体、市場関係者等）

### ③ 販売促進に向けたスキルアップセミナー等の開催

#### ア「くまもとジビエ研究会・研修会」（主催：くまもとジビエ研究会）

- ・目的：ジビエの有効活用及び販路拡大。
- ・日時：平成29年10月17日（火）10：00～16：00
- ・場所：(株)熊本畜産流通センター（菊池市七城町）  
ホシザキ南九(株)熊本支店「テストキッチン」（熊本市）
- ・概要：豚のと畜工程見学と衛生管理、精肉加工の研修。  
部会員のロイヤル（株）が参加し、ジビエの活用を促進。
- ・参加者：39名（飲食店、加工処理施設、行政、各団体）

#### イ「第4回ジビエサミット in 鹿児島」（主催：一財日本ジビエ振興協会）

- ・目的：素材の魅力を引き出す料理講習。
- ・日時：平成30年1月25日（木）13：30～15：00
- ・場所：ホシザキ南九(株)本社「テストキッチン」
- ・概要：ジビエサミットにおける体験プログラムの1つとして、部会員のホシザキ南九（株）のテストキッチンにおいて、ジビエ肉の魅力を最大限に生かすポイントを紹介し、販路開拓を促進。
- ・参加者：35名

#### ウ「久留米地域農商工連携見本市」（主催：久留米市農商工連携会議）

##### （同時開催 久留米市農業経営支援研修会

主催：久留米市担い手育成総合支援協議会）

- ・目的：6次産業化・農商工連携の促進。
- ・日時：平成30年2月6日（火）13：00～17：00
- ・場所：久留米ビジネスプラザ（久留米市）
- ・概要：6次産業化や農商工連携の取組事例の紹介、商品PR及び商談会。  
協議会チラシを配布し、加入を募り、生産者の6次産業化の取組を促進。
- ・参加者：80名（生産者、農業団体、行政等）

#### ④ 外食事業者と生産者の連携事例調査とその効果・課題の発信・分析

- ・目的：外食事業者と生産者が直接取引を行っている連携事例調査を実施し、効果・課題の収集・発信・分析を行う。
- ・日時：平成 29 年 11 月 28 日（火）10：20～15：00
- ・場所：(有)金子植物苑、KURUME ジェラート（久留米市）
- ・概要：国産バニラビーンズの利用を志向する部会員（ロイヤル、ぐるなび）と事務局により、生産者と外食事業者の連携事例を調査し、効果と課題の抽出。
- ・参加者：4名（部会員2名、事務局2名）

#### ⑤ 協議会クラウドを通じた外食事業者と生産者のマッチング機会の促進

- ・平成 30 年 3 月、九州農政局の HP に、外食事業者等から発信する「商談シート（バイヤー用）」、生産者等から発信する「商談シート（生産者用）」等の様式と協議会クラウドの URL を掲載し、利便性の向上と提案し易い仕組みに改善。
- ・外食事業者、生産者等の新会員を中心に同シートの作成を依頼し、会員間のマッチングを促進。

### (3) IT 部会

- ・目的：IT 等活用により一次産業の経営合理化、生産性向上、販売力強化の現場実証等。

#### ① 第 5 回 IT 部会

- ・日時：平成 29 年 9 月 15 日（金）15：00～17：10 九州農政局第 7 会議室
- ・概要：ア 平成 28 年度の活動実績について  
イ 平成 29 年度の活動方針について
  - i IT 技術（IoT、AI 等含む）の情報共有と実態把握。
  - ii IT 導入における課題等に関するワーキンググループの設置と活用。
  - iii IT 導入に当たっての課題実態調査の実施。ウ 「農商工連携事業による農林漁業の生産性向上及び地域活性化」についてプレゼン。中小機構九州 大澤統括プロジェクトマネージャー

#### ② IT 導入に向けたワーキンググループの設置と活用

- ・目的：農業現場に IT を導入するに当たっての課題の整理・検討。
- ・日時：平成 30 年 1 月 10 日（水）10：00～12：30
- ・場所：九州農政局福岡拠点 1 階会議室
- ・概要：ア 農業への IT 導入を推進する上での課題・問題点と対応策。  
イ 生産者のニーズにアプローチする上での問題点と対応策。  
ウ その他 IT 導入に向けた提案。
- ・出席者：9名（IT ベンダー 6 名、事務局 3 名）

#### ③ IT 導入に向けた課題実態調査の実施

- ・目的：生産者が IT を導入するに当たっての課題の抽出及び導入に向けた助言、具体的な問題点を把握し発信する。
- ・日時：平成 30 年 1 月 23 日（火）11：00～15：00
- ・場所：朝倉物産(株)（朝倉市）、農事組合法人豊地の郷（三潴郡大木町）
- ・概要：IT 導入に当たっての課題を調査し、仕様書を作成し IT 部会ベンダーの対応を促す。

- ・参加者：3名（部会長、事務局）

#### ④ 協議会クラウドを活用した「IT相談窓口」等の充実

- ・IT事業者と生産者のマッチングを促進するために、IT事業者と生産者のアプローチが容易になるよう、九州農政局HPに「IT導入相談窓口」の様式と協議会クラウドのURLを掲載し、会員外の生産者等に情報を発信。

#### ⑤ 会員等が主催するIT関連の研修会等との連携

##### ア「農業におけるクラウド活用セミナー in 熊本」

（主催：（一社）クラウド活用・地域ICT投資促進協議会）

- ・日時：平成30年2月15日（木）13：00～17：30
- ・場所：ホテル熊本テルサ（熊本市）
- ・概要：部会員であるNECソリューションイノベーターを講師として派遣し、「農業クラウドを取り巻く最新動向」を講演。協議会への加入を募り、生産者とIT事業者の連携を促進。
- ・参加者：80名

##### イ「平成29年度九州地域飼料用米推進会議」（主催：九州農政局）

- ・日時：平成30年3月13日（火）13：30～16：30
- ・場所：九州農政局共用会議室
- ・概要：会員から講師を派遣し、飼料用米等の生産の省力化、効率化、作柄安定に活用可能な最新技術を紹介。生産者とIT事業者の連携を促進。
- ・参加者：76名（各県、JA等、飼料関係団体及び企業等）

##### ウ「第2回九州次世代農業経営者 研修会」（主催：富士通株式会社）

- ・目的：次世代農業者が抱える課題解決のための講演等。
- ・日時：平成30年3月22日（木）13：30～17：00
- ・場所：ハイネスホテル・久留米（久留米市）
- ・概要：部会員である富士通（株）によるITを導入した農家経営の効率化の研修会を開催し、IT導入を推進。
- ・参加者：47名（農業生産者、農業団体、金融機関、福岡県等）

#### （4）流通部会

##### （方針）

- ・消費者が求める商品提供（マーケットイン）、生産・加工・流通における生産性向上・高付加価値化等（農業バリューチェーン）による生産者所得の拡大、及び、販路（需要・消費）の拡大を目指す

##### （事業及び検討事項）

##### 九州産農水産品の販路拡大

- ・ユーザー視点からの新規商品等の提案（商品価値向上のための提案等）。
- ・海外における「九州」産農産品の認知度向上・輸出拡大へ向けたブランド戦略（GLOBALG. A. P. 及びHACCP等国際認証の取得・普及等を含む）。

##### 物流の効率化・鮮度保持技術の活用等、物流・流通網の最適化、コスト削減

- ・アジアを中心とした海外販路拡大のため、船舶物流（輸出部会との連動）の検討。

- ・ドライバー確保や安全対策の充実などの潮流・課題を見据えた国内物流体制の最適化やモーダルシフト等の検討。
- ・輸出拡大を念頭に置いた、海上輸送やコールドチェーンの再検証（検証結果を整理した上で、関係省庁への施策提言等を行うことも視野）。

### 先進地視察やインターンシップの実施

- ・農業のバリューチェーン構築へ向け、生産性向上（先端的農業生産等）や商品物流、農商工連携、6次産業化の促進等の観点から視察先を選定。

### その他過去の議論で出された課題への対応（共通課題への取組、個別課題のフォローアップ）

#### ① 第18回流通部会

- ・日時：平成29年7月25日（火） 15：00～17：00
- ・場所：福岡第一合同庁舎（福岡市）
- ・概要：ア イチゴの低コスト海外輸出実現に向けた取り組みについて  
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センターより、輸出に適したイチゴの品種開発状況等についてプレゼン。
- イ 「農業現場及び食品製造現場における外国人技能実習制度の現状と課題」 公益財団法人国際人材育成機構より、外国人技能実習生制度と農業現場及び食品製造現場における外国人技能実習生の雇用状況等についてプレゼン。
- ウ 平成29年度流通部会 活動方針（案）について。

#### ② 第19回流通部会

- ・日時：平成29年9月22日（金） 10：00～12：00
- ・場所：福岡第一合同庁舎（福岡市）
- ・概要：ア 「GAPの推進について」  
九州農政局生産技術環境課より、GAPの概要やオリパラ関連の状況等について説明。
- イ 「新たなJASの活用方法について」  
九州農政局地域連携課より、新たなJAS制度の概要等について説明。
- ウ 「GAP指導員・審査員から見たこれまでのGAP制度普及について」  
NPO法人アジアGAP総合研究所の浜平特任指導員から、農業現場におけるGAP制度の普及状況等について説明。
- エ 「各流通側の国際認証制度関連取組状況と商品価値評価等に関する考え方について」  
部会員（流通側）から国際認証制度関連取組状況等について発言。
- オ 「各生産側の国際認証制度関連取組状況と今後の取組予定や意見について」  
部会員（生産側）から国際認証制度関連取組状況等について発言。
- カ 意見交換

#### ③ 第20回流通部会

- ・日時：平成 29 年 12 月 6 日（水）10：00～12：00
- ・場所：福岡第一合同庁舎（福岡市）
- ・概要：ア 「物流効率化に向けた施策及び支援制度」  
九州運輸局環境・物流課より、物流効率化に向けた国土交通省の施策及び支援制度の紹介、さらに九州管内の取組等について説明。
- イ 「香港における農産物の動向と物流の仕組」  
シティースーパーの田屋福岡支店長から、同社における日本産品の取扱状況と日本産商品に期待することなどについてプレゼン。
- ウ 「福岡発、香港・シンガポール向け輸出の現状及び青果物輸送の課題」九州農水産物直販(株)の園田次長から、同社で取組んでいる香港への農産物輸出の取組について、課題と対策を中心にプレゼン。
- エ 意見交換

#### ④ 第 21 回流通部会（流通・加工現場視察）

- ・日時：平成 30 年 2 月 8 日（木）13：30～17：00
- ・場所：株式会社ふくれん 宮田工場、イオン九州 福津店
- ・概要：ア 流通・加工現場視察（(株)ふくれん宮田工場、イオン九州福津店）
- イ 意見交換
  - i 現場視察に関する意見交換・質疑応答
  - ii 平成 29 年度流通部会総括
  - iii 平成 30 年度流通部会活動方針案
- ウ 連絡事項、その他